

校長挨拶

皆さん、おはようございます。

本日、こうして1年の節目となる終業式を迎え、皆さん一人ひとりがこの1年で積み重ねてきた努力と経験に、心から敬意を表したいと思います。授業や実験、実習、課外活動、そして仲間との何気ない日常の中で、皆さんは確実に成長してきました。その歩みを私はとても誇らしく思っています。

高専で過ごす時間は、人生から見ると決して長くはありません。しかし、その一日は、皆さんの人生にとってとても濃く、価値のある時間です。これからも「志」を持って、自分に与えられた時間を大切に使うてください。何をを目指すのか、どんな技術者、どんな人間でありたいのかを考え、そのために今、何を学ぶべきかを、自分自身に問い続けてほしいと思います。

皆さんは、やがて社会に出ていきます。しかし、社会人になることは「学びの終わり」ではありません。むしろ、そこからが本当の学びの始まりです。新しい知識、新しい技術、新しい考え方に出会ったとき、それを「おもしろい」と思える心、学び続けようとする意欲を失わないでください。その姿勢こそが、皆さんを成長させ続けてくれます。

また、多様な価値観を持つことも大切です。そのためには、人との関りを恐れず、大切にすることです。自分とは異なる考え方、異なる背景を持つ人と出会い、話し、時には悩み、考えることで、皆さんの視点は確実に増えていきます。視点が増えれば、世界はより広く、より深く見えるようになります。

皆さんがそれぞれの場所で成長していく姿を思い浮かべながら、同じ空の下で応援している一人がいることを、心の片隅においてもらえたらうれしく思います。

皆さん一人ひとりのこれからの歩みが、実り多く、希望に満ちた人生となることを心から願っています。

令和8年2月10日
鳥羽商船高等専門学校長
古山 雄一